

**追記分:**

**合格者・国家試験問題を見てきて、  
みなさんにお伝えしたいこと**

## 合格への近道・方法は1つではない

「過去問だけで結構、大丈夫！」  
「一問一答アプリでいけた！」  
「テキスト読んで頭に入れた！」  
「テキストなんか使わずに、参考書と模擬問でやった！」  
「過去問、模擬問、一問一答、参考書を全て3回ずつしました。」  
「参考書に貼ったり書き込んだりしました。」  
「書き込みワークシートをしました。」  
「模擬試験を3つ受けて復習しました。」

## 不合格者の言説 危険なパターン

「問題集が自分のはよくなかった。」  
「〇〇さんから後で聞いた方法がよかったみたいだ。」  
「■■社のがいいと聞いたのでそれをやれば次は受かると思う。」

⇒ 次の年も落ちられていることが多いです。

合格者の勉強方法はたくさんあり、どのやり方でも、合格点に達成するほど学べたか？（覚えたか？）だけである。

## 必要な勉強量（時間や気合）には個人差

自分に必要な量、しないと受からない。

⇒ 楽そうな話を人は信じやすい。

⇒ その話し手と同じ記憶力があるというのは錯覚だ。

⇒ 覚えれないなら、人の何倍も時間をかけるべき。

**「納得感」**がとても大切！

合格者はみな、  
「こうやって、よかったよ！」という方法に辿り着いている。  
（結果の後付けの場合もあるが。(笑)）

東大生にアンケートを取った結果、ほとんどの人が  
自分独自の方法をこれ！と編み出している。  
納得しながら、これでいいぞ！と思いながら  
**前向きに進める**ことが大事。

（不安・疑問を感じながらでは、量をこなすににくい。）

## どうやって、納得感を感じるか？

**勉強したことが出て、解けた  
(覚えられた) という体験**

**あなたがその体験をするまで、  
量をこなしてください。(個人差)**

**あなたは、どうやって覚えるか？**

- 受験マニアの情報でわくわく！する人？  
⇒○回出たよ！という情報が好き！  
参考書に掲載情報を確認しながら進めよう！
- ストーリーがあつたら覚えられる？  
⇒テキストで流れ、ストーリーを読もう！
- 書いたら覚えられる？  
⇒まとめる？図式化？表にする？
- また解けなかったという危機感で覚える？  
⇒どんどん新しいものを解く。  
⇒大事なものは何回も出てくる。

**一番陥ってはいけないこと**

**やり方への不安ばかりで、**

**勉強を進めないこと。  
(情報集めにさまよう・・・)**

秋・冬になると・・・  
**深追いしすぎて時間を無駄にしない。**

例えば、  
「過去問は1回読んだら覚えます」という受験生の存在

満点ばかり出たら困る国家試験

全員が満点を取らない問題を作成したい  
⇒全ての選択肢、全ての解説を理解できなくても構わない。

**直前では、捨てることも大切**

私の場合は・・・(当時、捨てたこと。)

捨てた分野・内容がある場合、  
150点満点ではないので、7割目標なら8割の精度、  
8割目標なら9割の精度、というように、  
取れそうなところで確実に得点につなげる準備を。  
捨てたところが増えるほど、他のところを頑張らないといけない。  
その覚悟があれば、捨てましょう！！